



共創で、「みんなきらきら第六小」に

校長 田邊 雅也

町探検に保護者26名が参加

2年生の生活科には、「町探検」という学びがあります。通常なら、引率者が限られるので、学級単位で担任が引率し、探検する箇所を絞らなくてはなりません。しかし、子供たちには、探検したい場所がたくさんありました。その思いに応えるために、26名もの保護者の皆様協力して下さることになったのです。地域のお店、保育園、放課後児童クラブ、農家さんなど、21箇所から、自分たちの興味関心に合わせた小グループでの「町探検」となったのです。おかげで、地域の方との交流を通して書き込んだ取材メモは、学びの宝の山となりました。学年でのグループ発表をした後は、国語で学んだ「はじめ、なか、おわり」の構成で、作文にしました。大人からやらされる勉強ではなく、自分で、自分から、地域のよさや素晴らしさに気づく本物の学びとなりました。保護者・地域の皆様には、感謝しかありません。

この3か月で、のべ200人以上も参加

こうした学びが実現できるのも、個別最適な学びへの試行錯誤に、保護者・地域の皆様が積極的にご協力くださるおかげです。上の教育活動は、生活科と国語を連携させ、教科書だけの学びとせず、「オーセンティック(本物)」な学び(※)となっています。子供も、保護者・地域の皆様も、教員も、「ウェルビーイング(幸福)」(※)を感じ、全員がキラキラしているようです。

4月から6月の3か月間、他の学年でも、保護者・地域の皆様にご協力いただくことが多く、すでに、のべ200人以上のご協力をいただきました。めざす学校像「自律と探究～オーセンティックとウェルビーイング～」への試行錯誤に、学校運営協議会を中心に、学校応援団、PTA、おはなしの木、ぐらんぱ、地域の皆様が、ご理解、ご協力くださっているおかげです。

「ウェルビーイング」とは、みんなキラキラすること

「ウェルビーイング」というキーワードは、満足した生活を送ることができている状態、幸福な状態、充実した状態など、多面的な幸せを表す言葉です。肉体的にも、精神的にも、社会的にも、すべてが満たされた状態、と訳されています。多くの保護者・地域の皆様のご協力をいただきながら取り組んでいる今年の教育活動は、地域ぐるみで、ウェルビーイングのある教育活動を展開していると言えます。皆がキラキラしたように見えます。

教育振興基本計画にも「ウェルビーイング」

6月16日に閣議決定された、国の「教育振興基本計画」とは、教育基本法の理念の実現と、教育振興に関する施策の総合的・計画的な推進を図るため、日本政府として策定する計画のことです。今回は「ウェルビーイング」が中核のキーワードとなっているところが特徴です。

子供たちが成長し、2040年頃に直面すると言われるVUCA(※)の時代は、日本でも世界でも、重大な課題が山積していると言われていています。よりよい未来にするため、持続可能な発展を生み出せる人材を、育成することが求められています。言い換えれば、身近な問題であっても、世界規模の問題であっても、「ウェルビーイング」を追究できる人材の育成が求められています。

共創で、「みんなきらきら第六小」に

2年生の「町探検」で地域のウェルビーイングを感じる実践を紹介しましたが、他学年でも、多くの保護者・地域のご協力をいただいています。学校運営協議会では、家庭・地域の教育力を生かした開かれた学校づくりに向け、「地域人材バンク」を作成しています。普段の授業はもちろん、クラブや委員会活動に至るまで、地域人材を活用した教育活動を進めています。

本物に触れたり、五感で感じたり、人と人とが膝を突き合わせて語り合ったりして、多くのウェルビーイングを導き出すことは、人間にしかできません。学校だより6月号で触れたように、生成AIの驚異的な進化で、世界が大きく変わったとしても、「世のため、人のため」という気持ちを持ち、最適解を導ける人材に育てていくのが、「新時代の教育」だと思います。

未来につながる生きた教育活動を、学校と家庭・地域で、共に創っていこう、という「共創」の精神で、「みんなきらきら第六小」になっていけるよう、今後ともよろしく願います。

※オーセンティックな学び … 真正(本物)な学び、生きて働く力にしていく学び。「実用的な場面を想定した学び」と、「教科の学問的な楽しさを味わえる学び」の2つの視点があります。

※ウェルビーイング … 幸福で充実した状態。文科省は、「獲得的幸福感(自分)」と「協調的幸福感(みんな)」の2つで整理。

※VUCA … 先行きが不透明で、将来の予測が困難な状態。1990年代後半の軍事用語が語源。

V(Volatility変動性)、U(Uncertainty不確実性)、C(Complexity複雑性)、A(Ambiguity曖昧性)